

コミュニティ静岡

あなたのまちの
コミュニティ活動情報誌

2013
7月
No.131

「自然発見塾」で自然を楽しく学ぶ

特定非営利活動法人高原倶楽部 (伊豆の国市)



山菜、野草収穫後はおまちかねの試食会



笑顔があふれるそば打ち



食べられるかな～？

▼伊豆の国市高原(タカハラ)地区山林の里山再生と農業や自然体験などの多彩なメニューで活動を広げている高原(コウゲン)倶楽部は、移り変わる自然環境の中で、多くの親子が自然と人とのつながりを学び、共生とは何かを活動を通して理解してもらおうと平成21年に発足した。会員数46人。

▼活動の1つである「自然発見塾」では、年間の活動計画を決め、各イベントの開催ごとに内容と募集案内をHPに載せて参加を募っている。平成24年度の第1回から9回までの内容は次のとおり。

- ①竹の子掘り②山菜採り、野草の試食③自然観察、草木染め④川遊び⑤竹細工、提灯づくり⑥ネイチャーゲーム、ツリーイング⑦収穫祭、野外料理⑧葛かご、墨クラフト⑨そば

打ち

指導者は、専門知識や経験のある方をお願いしているが、時には会員が講師として参加している。

▼自然の中で、あるいは自然の産物を利用してさまざまな体験をすることで、自然と人間の関わりを広く知り、日常生活では味わえない新しい発見に喜びを感じるなど、子どもたちの成長に役立っている。スゴク楽しく前向きなクラブである。

<http://taketake.i-ra.jp/>

◇代表：岩野正三さん(問合せ・☎055-944-2371)

【情報提供・小川昌年】

Contents No.131

各地の活動	●伊豆の国市	1
クローズアップ	●わが清水川の川面に泳ぐミニ鯉のぼり600匹(島田市)	2
専門委員コラム	●「楽しい」の蓄積が地域の底力を育てる 川口良子氏	3
各地の活動	●東伊豆町・三島市・島田市・掛川市・磐田市	4~5
地域訪問記	●少なくともって大きな力!(浜松市天竜区)	6
コミねっとから	●キラリッ!コミねっと、コミねっと総会	7
コミ推協から	●コミュニティ活動集団など	8



コミック
のりづき・りえ

クローズアップ

わが清水川の川面に泳ぐミニ鯉のぼり600匹

～清流を取り戻す～

いこい公園愛護会（島田市）



▲期間は4月中旬から6月中旬まで

島田市金谷扇町は、大井川にほど近く旧東海道沿いにある宿場の文化を残す閑静な住宅街。近隣の町の発展と共に移り住んだ人も多い。湧水が多く流れ込む清水川は、川底に太陽が映り込むほどの清流である。この地区で、公園の管理や川の清掃活動を長年続けているのが、いこい公園愛護会のメンバー8人である。

よみがえれ清水川

減った
▶1キロ先の湧水が源流。昔に比べ水量が



「川、きったねえなあ！俺らの子供の頃は、川に洗い場があってさ、野菜でも茶碗でもみんなここで洗っていた

し、洗濯だってここでしていたよ」「残飯が魚の餌になってさあ、その鯉もフナもウナギもアユも何でも捕って食べたよ」「昔の川は、きれいだったな」と、メンバーの声が聞こえる。公園の掃除や会合で幾度となく聞くホタル舞うふるさと金谷の風景は、誰にとっても大切なわがふるさとの風景であってほしいことから早速、川の掃除を始めた。それを見ていた周りの住民も協力し、清流は取り戻されてきた。

魚も増えた川の環境に目を向け、近所の人々に楽しんでもらおうと7年前から川面

にミニ鯉のぼり（100円ショップで購入）を飾っている。4月中旬、住宅街の一角に突然現れる鯉のぼり、橋から橋まで600匹の鯉が泳ぐ姿は圧巻である。川面を覗くと川に映り込んだもの、生きているものと合わせると鯉は1500匹と言うのがメンバーの自慢だ。

事件発生!!が宣伝に...

始めてから2年目の危機。ある朝、「鯉のぼりが無いよ！」と近所の方が駆け込んできた。走り出してみると、一夜のうちにロープが切れ鯉のぼりの一部が紛失していた。「なぜ？こんなことに。」みんな愕然とした。警察に盗難届を提出し、一週間後に発見されたが「こんなことでやめられない！」と再び鯉のぼりを飾った。逆にこれが話題になり、鯉のぼりを見に来る人が増えた。保育園の散歩や家族連れ、SLを見に来る観光客など、「わあーかわいい、きれいだね。」と歓声が聞こえる。近頃はお年寄りも多く、懐かしい風景に川を覗き込んで目を輝かせている様子。メンバーにとっては励みだ。

未来へ引き継ぐふるさとの風景

毎年、2か月間雨風に晒される鯉のぼりの痛みは激しく、大きい鯉のぼりの提供者を探す事は難しい。うれしいことに市の観光課を通じて、鯉のぼりの寄付の申し出があった。

聞けば高齢になった母が長年孫のために飾っていたもので、娘さんは母の思いを何とか大切にしたいとこの清水川に飾



▲おそろいのユニフォームで活動しています



るように届けてくれた。ありがたい。

期間中メンバーは、風で巻きついてしまう鯉のぼりを、まめにフックを付けた釣竿で絡みをもどしている。いつでも最高の状態を見てほしいからだ。6月、期間が終わると全ての鯉のぼりは洗濯され、ほつれが繕われ生き返る。新しいロープに付け替えられる。毎年、鯉のぼりを楽しみに来てくれる孫の事を思うと、夜なべ仕事も苦にならないそう

だ。「皆さんが喜んでくれるから、仲間がいるから頑張れる。できる限り続けていきたい」「子供たちが大人になった時、この風景を思い出して次の子供たちにも残してあげたい。とってくれるといいな」これがメンバーの願いだ。

平成26年4月、2年に一度の金谷お茶まつりが行われる。伝統の屋台引き回しと共に、昼間はお茶娘道中が旧東海道を練り歩く。清水川に泳ぐ鯉のぼり、その先の橋を渡るお茶娘道中は、過去・現代が重なる美しい風景である。是非訪ねてみてください。

◇代表：杉本虎雄さん（☎0547-45-3351）

【情報提供 富永弘子】



レポート・萩原佐枝子編集委員

■推進専門委員コラム

「**煩い合い**」の蓄積が地域の底力を育てる

合同会社デザイン・アープ代表

川口良子 氏



本誌での活動紹介を読むと、「**煩い合うことを楽しむ**」という言葉が浮かびます。地域に関わる仕事を始めたころ、当時、地域づくりの先進地として注目されていた福岡県柳川市の堀割再生をテーマにしたドキュメンタリー映画「柳川堀割物語」の中で知った言葉です。それ以来、随分長い年月たちましたが、地域に関わる様々な仕事を経験していく中で、地域を良くしようと活動する人たちと出会うたびに、この言葉を思い出します。「**煩う**」というのは決して良いイメージの言葉ではありませんが、それを「**楽しみ**」にしてしまう、たくましい底力を感ずります。

～地域に「**煩い**」はつきもの～

「地域」は、そもそも共通の目標、価値観を持つことは難しい性格のものです（これについては、違った考え方もあるとは思いますが、地域の誰もが同じ考えで画一化した社会は、面白くないし、怖いですよね!）。

都市的生活が一般的となった今、地域のメンバーは、たまたま同じ地域に住んでいるにすぎない縁の人たちです。違っているのが当たり前なのです。価値観やバックグラウンド、得手・不得手など、色々な面で異なる人たちが共同作業をすれば、当然「**煩い**」はついてまわります。

～「**煩い合い**」の機会をあえてつくる～

そんな、地域コミュニティに、いざというときの「**助け合いの底力：近助の力**」発揮への期待が大きくなっています。なにげない日常の会話や、時には共同作業をすることで育まれるコミュニティ内の健全な関係づくりを意図的に行っていくことが必要です。その「**健全さ**」を育むには、多少の軋轢は地域活動では当たり前とし、泥臭い「**煩い合い**」の中から、お互いの違いを理解し認め合う経験の蓄積が必要だと感じています。煩わしいからこそ生まれる「**大変だけど、興味深い**」経験を楽しむ達人たちに、元氣な地域に行くと必ず出会います。

まちから・むらから

● 東伊豆町



現地視察をし、車両転落防止柵を提起、解決

まちづくりは住民と行政の協力で まちづくり協働ボランティア隊

▼東伊豆町では、行政主導ではなく地域住民と行政が一体になり地域づくりに励もうとする人を平成22年に募集した。集まった15人で「稲取高原再編整備協力隊」を発足し、24年からは企画調整課を窓口「まちづくり協働事業ボランティア隊」と位置づけ、観光の町として地域ごとの問題点や課題についてワークショップを実施して改善に取り組んでいる。

▼約20人の隊員が町内全域から集まり、ワークショップからの問題提起、その解決作業を実施している。

昨年度は、車両転落防止柵の設置、稲取文化公園ひなの館園内通路をウッドデッキに張り替える作業、稲取高原マップの作製などの活動を行った。いろいろな職種の人たちが集まっているので、お互いに教わることも多く、協働作業をすることで、地域の垣根が無くなり「まちが一つになる」と確信する。

▼これからのまちづくりは、住民参加やコミュニティによるまちづくりが主流となる。東伊豆町にお住まいのあなた！一緒にやりませんか。

◇連絡係：鈴木邦夫さん（問合せ・☎0557-95-2261）

【情報提供・鈴木邦夫】

現地視察をし、車両転落防止柵を提起、解決

各地の活動

● 三島市



住職のお話に聞き入ります

お寺で新たな郷土の歴史を発見! みしまのお寺巡りの会

▼「みしまのお寺巡りの会」は、お寺を三島の歴史を伝える存在として位置づけ、お寺に眠るあらゆる文化資源を掘り起こし、これを三島固有の歴史や文化として周知することによって、文化振興、地域振興に寄与することを目的としている。現在スタッフ2人、ボランティアガイド4人が月3回程度のペースで活動を行っている。会員数は約50人。年会費2000円。お寺巡りは1回700円（会員以外900円）の参加費をいただいている。

▼開催するに当たり、お寺から歴史に関する情報をご提供いただき、資料を作成する。これを基に、専任ガイドと共にお寺を巡るウォーキングを企画し随時開催している。紹介するお寺は、観光用に開かれたお寺ではないので、趣旨に賛同していただくことが大変だった。普段なかなか立ち入れないお寺を訪ねて、時には住職や関係者から話を聞く機会を設けており、意外に知られていない郷土の歴史を発見する面白さがある。これを三島の新たな魅力として全国に発信し、地域の活性化につなげていければと考えている。

◇会長：鈴木克彦さん 事務局長：前原結花さん

（問合せ・☎090-8132-8394）【情報提供・村上ひさ子】

歴史や文化として周知することによって、文化振興、地域振興に寄与することを目的としている。現在スタッフ2人、ボランティアガイド4人が月3回程度のペースで活動を行っている。会員数は約50人。年会費2000円。お寺巡りは1回700円（会員以外900円）の参加費をいただいている。

● 島田市



楽しい時間はあっという間

被災地の仮設住宅の方・障害者の方にリアル野球盤を! NPOリアル野球盤協会

▼平成25年4月29日、30日に、島田市発祥の「リアル野球盤」というレク・ゲームを行うことによって、被災地の方の運動不足・ストレス解消というニーズに応

ホームランなどを打ってハイタッチで迎えられる時は笑顔が溢れ出る。「おたがいさまセンター」ではホームラン数46本、同じ数のハイタッチができて大いに盛り上がった。多くの方の善意を集めて実現したイベントである。

▼「READYFOR?」というクラウドファンディング（ネットによる財源募集）を使い、夢として描いた「被災地でリアル野球盤を」というプロジェクトを実現した。それぞれの施設にリアル野球盤の現地指導と用具の寄贈ができたので、これからは自主的に楽しんでもらえる。

▼リアル野球盤は、誰にも使っていただけなので、ご希望の方は代表者までご連絡ください。

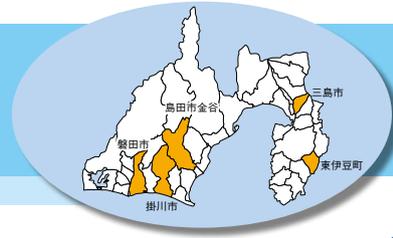
<http://real-yakyuban.com/>

◇代表：鈴木久雄さん（問合せ・☎090-1281-4578）

【情報提供・鈴木久雄】

えたく、福島県郡山市といわき市を訪問した。
▼郡山市「おたがいさまセンター」では仮設住宅の自治会高齢者の方、いわき市「いわき自立生活センター」では障害者の方（車椅子の方も）が楽しんでくれた！「リアル野球盤」は誰でもホームランが打て、楽しみながら運動し、

各地の活動情報



●掛川市



幼虫と餌のカワニナを放流

偶然観つけた代表が、ホタルの生息する自然の素晴らしさに感動し、ホタルのことを子どもたちと学習してみたいと捕獲や飼育を考え、当時の中学校長と養殖による「ホタルの里づくり」活動を始めた事が実を結んだ。

▼5月～6月は、ホタル観賞場所整備のため草刈り作業、駐車

ホタルの里づくり活動

▼掛川市上垂木地区では、毎年5月末から6月中旬まで、垂木川とその支流でホタルが乱舞する。これは今から13年前、地元垂木川でホタルの舞を

上垂木ホタルを守る会

場の確保など、地元自治区役員などの協力を得て活動。

6月の小学生対象「ホタル学習会」では、映像を使った自然保護や環境保全活動の学習を実施。同月に親ホタルを捕獲、有志の家の飼育箱に水苔を入れて卵を産ませ、カワニナを与え水を換えながら孵化させた幼虫を7月から翌年3月まで養殖しながら放流会まで育てる。

▼観賞訪問者にハガキ800通を用意し、希望者に自分の宛先を記入してもらい、翌年の乱舞の時期をお知らせして喜ばれている。観賞会では、ゴミ捨て防止の広報にも力を注いでいる。

▼垂木川ではゲンジボタル、ヘイケボタルが観察されている。

◇代表：堀田文夫さん（問合せ・☎0537-26-2493）

【情報提供・島元正彦】

●磐田市



出会いの場のお手伝い

～ももいろ講座～

▼去る5月26日磐田市にあるリフレ（福田健康福祉会館）で20代～40代の独身男女の出会いの場を提供する講座が開催された。

▼地域と密着している公民館では、少子化問題や婚活の現実的な問題として「出会いの場所が無い」などの住民の切実な声を聞いていた。そこで結果（結び付け）はともあれ、まず出会いの場を提供しようと立ち上がった。

▼合コンとは違った雰囲気の中で和やかに交流を深めていくこの講座は、今回で2回目。まず、自己紹介から始まり、

ゲームなどをして緊張をほぐしながら交流をする。お昼は、グループごと手巻き寿司を作り、ティータイムでは、これも手作りのデザートを食べながらゆったりと交流することに重きを置いた内容にした。地域の方を講師に招いて、サプライズ企画も用意された。

▼行政が関わることで、安心して参加ができるためか口コミで広がり、開催した2回はキャンセル待ちになるほど人気。スタッフ自身も非常に楽しく企画、準備をしている。「地域に少しでも貢献ができれば！」と不定期ながら今後も開催する予定である。

◇代表：吉松良啓さん（問合せ・☎0538-32-9623）

【情報提供・森岡たか子】

南公民館

地域活動情報

この詳細はホームページでご覧になれます（アドレス <http://www.sizcom.jp>）

市町	活動名	主催者	月日	場所
河津町	カーネーション引き抜き農業体験	河津温泉旅館組合	母の日終了日から2週間ほど	河津町内カーネーション農園
御殿場市	新町音頭で町おこし	御殿場区氏子会新町音頭部会	平成25年3月10日	御殿場市御殿場区コミュニティ共用施設
富士市	故郷の森を育てよう大作戦in明見神社	NPO法人鎮守の森を育てる会	平成25年4月29日(月)	富士市吉津公園、明見神社、こぶしの里
静岡市	服織西学区夏祭り納涼大会	服織西学区夏祭り実行委員会	毎年8月第1土曜日 18:00～	宮前スポーツ広場
吉田町	コミカレねっとわーく吉田支部定例会	コミカレねっとわーく吉田	毎月1回	はぁとふる2階会議室
掛川市	入居者の笑顔が見たくて	あゆみの会	月1回 第4日曜日	養護老人ホーム「小笠老人ホーム」(掛川市大坂)
菊川市	お人形の供養祭	加茂地区生涯学習推進員	毎年5月節句の終了後	菊川市加茂地区コミュニティセンター
湖西市	湖西市・表鷺津凧揚げ祭り	遠州鷺津こぼち凧保存会	平成25年5月3日(金)、4日(土) 毎年5月開催	湖西市表鷺津湖岸1号公園

地域訪問記

少なくともって大きな力

～高齢化地域の若者たち～

熊 青年クラブ (浜松市天竜区)



お兄さんたちとの食事は楽しいな



27年間続く「くんま仲良し学校」

浜松市天竜区熊（くま）地区、地元の人は親しみを込めて“くんま”と呼ぶ。

浜松市街から車で1時間余り。天竜美林や棚田、阿多古川などの清流に囲まれた美しい地域である。しかしながら、この地域でも人口、特に若者の減少が進んでいる。平成23年のデータでは、人口739人高齢化率は47.0%と2人に1人は65歳以上という高齢化地域である。小学生は全学年合わせても10人しかいない。

平成元年第28回農林水産祭「むらづくり」部門では天皇杯を受賞したことで分かるように地域住民全体で地域おこしに取り組んでいる。そんな環境の中、地域の活性化のために頑張っている若者たちがいる。今回取材させていただいた“熊青年クラブ”である。

代表を務める鈴木 勇佐（ゆうすけ）さんと、会計の太田 恭兵さんに話を伺った。

青年クラブは高校を卒業してから30歳までの独身男性有志で構成されている。現在の会員数は10人だが、若者が少ないこの地域にあっては貴重な戦力だ。地域のほとんどの行事に駆り出されるが、次の3つの行事は彼らが主体となり進めている。

「ホタルに会いに行こう」

この行事のため、地元六郎沢の住民と共に川辺の草刈りをし、期間中は受付、駐車場の案内など何でもこなす。同時に地元の人々の協力を得て地元産品出店を促し、「ホタルの学



見に来られる方々のために

校」を開校。またホタルの生態などについて学ぶ場を提供していただき、ホタルに会いに来た人たちのおもてなしをしている。

「くんま仲良し学校」

この学校は地元のお寺に小学生を集め、同寺で寝泊まりし、住職の講話や座禅などの体験をしながら、隣接する小学校に通うという。今年で27回目というから、通学合宿のまさに草分けの事業である。

青年クラブは子供たちと寝泊りするとともに、“取っ組み合い”や将棋の相手をしながら子供たちを楽しませている。時には中学生たちが応援に来たり、ご父兄も食事のお世話に来たりと地域ぐるみで子どもたちを見守る。

「ふるさとまつり くまさんの夏休み」

夏の恒例行事でメインイベントはアユのつかみ取りや、金魚すくいなどである。取ったアユはその場で塩焼きにしてふるまい、行楽客などに喜ばれている。地元NPOも協力し、かき氷、焼きそば、フランクフルトなどの模擬店も出る。

悩み…そして希望へ

そんな青年クラブだが、悩みもある。なんて言ったって人数が少ない。そこで青年クラブの卒業生で“熊人（くまんと読む）”という少し上の世代の組織化に取り組んでいる。



楽しい思い出が青年クラブ存続につながる

最後に聞いた今の夢は？「もっと多くの人に熊地区を知ってもらい、訪れてくれることで地域を活性化したい。そして今あるものを次の世代に残していきたい」と答えてくれた。がんばれ!“熊 青年クラブ”

◇代表：鈴木勇佐さん

【情報提供・矢野陽介】



レポート・三戸部 孝編集委員



キラリ!コミねっと

各地区趣向を凝らした内容で開催（通学合宿）

コミカレねっとわーく会員の活動紹介します!

地域の子どもは地域で育てる

コミカレ・ねっとわーく吉田（榛原郡吉田町）

昭和55年に始まったコミュニティカレッジも平成24年度で33回、修了された方は1,991人を数える。修了後はそれぞれの地元でコミュニティ活動に尽力されているが、個々に活動するだけでなく、年度を越えて全ての修了者が連携し力を合わせることが、コミュニティづくりの大きな力となるだろうと「コミカレ・ねっとわーく」（以下「コミねっと」）が組織されている。

そして地域にも「コミねっと」が組織され、地域の特性に合わせて「キラリ!輝く」活動を展開している。そんな活動、組織を紹介していこう。

教育委員会と連携して

平成2年、4人の修了者から始まった榛原郡吉田町の「コミねっと吉田」（杉本幸枝代表）は、神戸、川尻、住吉、片岡の町内4つの地区合せて34人の会員がいる。コミカレには吉田町教育委員会の推薦を受けて受講してきた方がほとんどで、活動も同委員会と連携して「地域の子どもは地域で育てる」を主眼に展開している。

主な事業は、通学合宿や地引き網、ファミリーウォーク、味噌づくり、昔の遊びなど、子どもとその家族を巻き込んで実施している。最近では、スキー教室や畑づくりも始め、子どもと大人のふれあいを広げながら、子どもの健全育成、まさに「地域の子どもは地域で育てる」を実践している。

「楽しくなければ継続しない!」と仲間づくり、親睦の活動も盛ん。積立をして1泊2日の旅行や忘年

会、新年会、パーティー等々。会員の一人和田登さんは「まとまりがあり、楽しく活動している」、「コミねっと会員以外の地域の方々も協力してくれるので、活動がしやすい」など、会員同士のまとまりと共に、地域へも活動の輪が広がっている。



親睦旅行の1コマ

地域に無くてはならない存在に

今後も子どもと大人が共に参画できる行事、それは農業に関することや、地域に伝わる伝統行事などを年配者から聞きながら子どもたちに伝えていくなど、趣向を凝らしながら、子ども中心の事業展開を考えている。

コミュニティカレッジから仲間が生まれ、始まった活動は、地域に無くてはならない存在となっている。

コミカレ・ねっとわーく総会を開催 各地から230人が参集

本会のリーダー養成事業「コミュニティカレッジ」修了者で組織する「コミカレ・ねっとわーく」（会員550人）では、6月1日、掛川市大須賀中央公民館で、県内各地から会員230人が出席して、平成25年度の総会を開催した。全体総会のほか、東部、中部、西部の支部ごとの総会も行い、各種事業や研修計画などの審議を行うと共に、互いの連携を誓いあった。



役員紹介

会長 沖二三男（御前崎市）
副会長 （支部長を兼ねる）
沓間 捷（御殿場市）
田島逸雄（吉田町）
安部詠司（磐田市）

編集委員の紹介

本年度の本紙編集委員の皆様を紹介します。（敬称略）

- 川口 良子（デザイン・アープ代表・本会推進専門委員）
- 土屋 順廣（県広報協会常務理事兼事務局長）
- 三戸部 孝（コミカレ修了者・磐田市）
- 萩原佐枝子（コミカレ修了者・静岡市）
- 山下伊八郎（エディター）
- 杉村 龍司（県自治行政課主査）

「コミねっと」から



編集・発行
 静岡県コミュニティづくり推進協議会
 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
 総合社会福祉会館3階
 TEL 054-251-3585
 FAX 054-250-8681
 URL <http://www.sizcom.jp>
 E-mail sizucom0829@po.across.or.jp
 地域情報お寄せ下さい。

コミュニティ活動集団20集団を指定

平成25年度の「コミュニティ活動集団」は、次の20集団を指定しました。地域で新しいコミュニティの風を巻き起こすような活動を期待します。

- 小山町インフラ協議会（小山町） 協働によるまちづくりの実現
- 神山お囃子保存会（御殿場市） 地元伝統文化の継承と世代間交流
- ふれあい上宿（裾野市） ふれあいづくりは、しあわせづくり
- NPO法人奥駿河燦燦会（沼津市） 地域の活性化、未来に夢を
- コミネっと大平（沼津市） 休耕地利用の「住民憩いの場花園作戦」
- 和田1倶楽部（富士市） 元気な和田町
- 内房南沢ぼたるの里（富士宮市） ホタルが生息するすばらしい自然環境を保全
- 堂林自治会 むらさき倶楽部（静岡市） 「人を想う心・相互の助け合い」
- わかば・あそびの会（静岡市） わいわい みんなであつまり あそぶ
- いのかみの会（静岡市） 地域住民同士の交流と地域で子どもを育てる
- えつみのひろば（焼津市） 下江留の未来（こども）のことをみんなで考えよう
- 古民家倶楽部Kabara（藤枝市） 大人も子どもも楽しめる「秘密基地」を作ろう！
- 南新屋壮年会（藤枝市） 南新屋タッシュ村でみんな元気で楽しく！
- コミュニティ竹下（島田市） 楽しく、仲良く、前向きに！“この地域をいつも新鮮に”
- 金谷コミュニティ委員会地域振興部会（島田市） 島田市金谷地域を元気に！
- 御前崎わんぱく農業体験推進協議会（御前崎市） 「汗を流し、協働して土と心を耕そう」
- ポッポ屋 原谷会（掛川市） 田舎を楽しくいきいきと
- このゆびと〜まれ（掛川市） 家族で感動を共有できる場、時間の創出
- 中野町を考える会（浜松市） なかなかやるねえ 中野町
- 引佐まちづくり協議会（浜松市） 地域の活性化、安全で安心なまちづくりを目指す

第11回 ポスター・標語・川柳コンクール作品募集

- テーマ：①健康診断：いつまでも元気でいてほしいから
 ～わたしのため ぼくのために受けて健康診断！！～
 ②受動喫煙防止：きれいな空気を「ありがとう」
 ～大人へのメッセージ～

応募の締切は9月4日（水）

詳細はしずおか健康いきいきフォーラム21事務局まで
 TEL054-253-5570 URL <http://www.sukoyaka.or.jp/ikiiki21>



2013年 7月10日(水) 同時発売 発売期間：7月10日(水)～8月2日(金)
 市町村振興宝くじ 抽せん日：8月13日(火) この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよきまちづくりに使われます。